

◎内閣告示第一号

現代国語を書き表わすため各行政機関においてよるべき送りがなのつけ方の標準を、次のように定めた。

昭和三十四年七月十一日

内閣総理大臣 岸 信 介

（「送りがなのつけ方」は省く。
176 ページ参照。）

13 送りがなのつけ方

◎内閣訓令第一号

各 行 政 機 関

「送りがなのつけ方」の実施について

さきに、政府は、現代国語を書き表わすために日常使用する漢字およびその音訓の範囲ならびにかなづかい等を定めて、当用漢字表・同別表・同音訓表・同字体表・人名用漢字別表および現代かなづかいを告示した。これらの実施によつて、日常使用する漢字の数・音訓・字体が整理され、また、かなづかいの困難も少なくなつた。しかしながら、当用漢字・現代かなづかい制定の趣旨の徹底を図るためには、さらに送りがなのつけ方を整理して、その標準を定めることが必要である。

よつて、政府は、今回国語審議会の建議を採択して、本日内閣告示第一号をもつて「送りがなのつけ方」を告示した。今後、各行政機関においては、この方針によるものとし、あわせて広く各方面にその趣旨が徹底するように努めることを希望する。

昭和三十四年七月十一日

内閣総理大臣 岸 信 介

第 2 表

sha	shi	shu	sho
		tsu	
cha	chi	chu	cho
		fu	
ja	ji	ju	jo
di	du	dya	dyu
			dyo
kwa			
gwa			
			wo

そ え が き

前表に定めたもののほか、おおむね次の各項による。

- 1 はねる音「ン」はすべて n と書く。
- 2 はねる音を表わす n と次にくる母音字または y とを切り離す必要がある場合には、n の次に ' を入れる。
- 3 つまる音は、最初の子音字を重ねて表わす。
- 4 長音は母音字の上に ^ をつけて表わす。なお、大文字の場合は母音字を並べてもよい。
- 5 特殊音の書き表わし方は自由とする。
- 6 文の書きはじめ、および固有名詞は語頭を大文字で書く。なお、固有名詞以外の名詞の語頭を大文字で書いてもよい。

ローマ字のつづり方

まえがき

- 1 一般に国語を書き表わす場合は、第1表に掲げたつづり方によるものとする。
- 2 国際的關係その他従来の慣例をにわかに改めがたい事情にある場合に限り、第2表に掲げたつづり方によつてもさしつかえない。
- 3 前二項のいずれの場合においても、おおむねそえがきを適用する。

第1表 [() は重出を示す。]

a	i	u	e	o			
ka	ki	ku	ke	ko	kya	kyu	kyo
sa	si	su	se	so	sya	syu	syo
ta	ti	tu	te	to	tya	tyu	tyo
na	ni	nu	ne	no	nya	nyu	nyo
ha	hi	hu	he	ho	hya	hyu	hyo
ma	mi	mu	me	mo	mya	myu	myo
ya	(i)	yu	(e)	yo			
ra	ri	ru	re	ro	rya	ryu	ryo
wa	(i)	(u)	(e)	(o)			
ga	gi	gu	ge	go	gya	gyu	gyo
za	zi	zu	ze	zo	zya	zyu	zyo
da	(zi)	(zu)	de	do	(zya)	(zyu)	(zyo)
ba	bi	bu	be	bo	bya	byu	byo
pa	pi	pu	pe	po	pya	pyu	pyo

◎内閣告示第一号

國語を書き表わす場合に用いるローマ字のつづり方を次のように定める。

昭和二十九年十二月九日

内閣総理大臣 吉 田 茂

12 ローマ字のつづり方

◎内閣訓令第一号

各 官 庁

ローマ字のつづり方の実施について

国語を書き表わす場合に用いるローマ字のつづり方については、昭和十二年九月二十一日内閣訓令第三号をもつてその統一を図り、漸次これが実行を期したのであるが、その後、再びいくつかの方式が並び行われるようになり、官庁等の事務処理、一般社会生活、また教育・學術のうえにおいて、多くの不便があつた。これを統一し、単一化することは、事務能率を高め、教育の効果をあげ、學術の進歩を図るうゑに資するところが少なくないと信ずる。

よつて政府は、今回国語審議会の建議の趣旨を採択して、よりどころとすべきローマ字のつづり方を、本日、内閣告示第一号をもつて告示した。今後、各官庁において、ローマ字で国語を書き表わす場合には、このつづり方によるとともに、広く各方面に、この使用を勧めて、その制定の趣旨が徹底するように努めることを希望する。

なお、昭和十二年九月二十一日内閣訓令第三号は、廃止する。

昭和二十九年十二月九日

内閣総理大臣 吉 田 茂

人名用漢字別表

八八

龍	虎	甚	暢	嘉	丑
龜	蝶	睦	朋	圭	丞
	輔	磨	杉	奈	乃
	辰	磯	桂	宏	之
	郁	祐	桐	寅	也
	酉	祿	楠	尚	互
	錦	禎	橘	巖	亥
	鎌	稔	欣	巳	亦
	靖	穰	欽	庄	亨
	須	綾	毅	弘	亮
	馨	惣	浩	弥	仙
	駒	聡	淳	彦	伊
	鯉	肇	熊	悌	匡
	鯛	胤	爾	敦	卯
	鶴	艷	猪	昌	只
	鹿	蔦	玲	晃	吾
	麿	藤	琢	晋	呂
	齊	蘭	瑞	智	哉

11 人名用漢字別表

◎内閣訓令第一号

各 官 庁

人名用漢字別表について

人名に用いる文字は、国民の生活能率をあげるためにも、また、個人の幸福のためにも、できるだけ常用平易な文字を用いることが必要である。しかしながら、人名に用いる漢字については、社会慣習や特殊事情もあるので、政府は、今回国語審議会の「人名漢字に関する建議」を採択し、当用漢字表（昭和二十一年内閣告示第三十二号）に掲げる漢字のほかに、人名に用いてさしつかえないと認められる漢字を、「人名用漢字別表」として、本日内閣告示第一号で告示した。今後、この趣旨が国民一般に徹底するよう努めることを希望する。

昭和二十六年五月二十五日

内閣総理大臣 吉 田 茂

◎内閣告示第一号

「当用漢字表」（昭和二十一年内閣告示第三十二号）に掲げる漢字以外に人名に用いてさしつかえない漢字を、次の表のように定める。

昭和二十六年五月二十五日

内閣総理大臣 吉 田 茂

二、この表の字体は、これを筆写（かい書）の標準とする際には、点画の長短・方向・曲直・つ
けるかはなすか・とめるかはね又ははらうか等について、必ずしも拘束しないものがある。そ
のおもな例は、次の通りである。

(1) 長短に関する例			雨	雨	商	商	戸	戸	無	無
(2) 方向に関する例			風	風	比	比	仰	仰		
(3) 曲直に関する例			言	言	ネ	ネ	主	主		
(4) つけるかはなすかに関する例			了	了	手	手	空	空		
(5) とめるかはらうか、とめるかはねるか、に関する例			又	又	文	文	月	月	果	果
(6) その他の他			奥	奥	隊	隊	公	公		
			角	角	骨	骨				
			木	木	来	来	牛	牛	糸	糸
			北	北	女	女				
			人	人	入	入	令	令		

（当用漢字字体表省く。）

半半 兼兼 妥妥 羽羽

(2) 画の長さの変わった例

告告 契契 急急

(3) 同じ系統の字で、又は類似の形で、小異の統一された例

拝招 拜招 全今 全今 抜友 抜友

(4) 一点一画が増減し、又は画が併合したり分離したりした例

月期朝青 月期朝青 起記 起記

者者 黄黄 郎郎 歩歩 成成

黒黒 免免

(5) 全体として書きやすくなった例

亜亜 俟儉 児児 昼晝

(6) 組立の変わった例

黙黙 勳勳

(7) 部分的に省略された例

庇應 芸藝 県縣 疊疊

(8) 部分的に別の形に変わった例

広廣 転轉

〔使用上の注意事項〕

一、この表の字体は、活字字体のもとになる形であるから、これをみんなちよう体、ゴシック体その他に適用するものとする。

当用漢字字体表

まえがき

一、この表は、当用漢字表の漢字について、字体の標準を示したものである。

一、この表の字体は、漢字の読み書きを平易にし正確にすることをめやすとして選定したものである。

一、この表の字体の選定については、異体の統合、略体の採用、点画の整理などをはかるとともに、筆写の習慣、学習の難易をも考慮した。なお、印刷字体と筆写字体とをできるだけ一致させることをたてまえとした。

〔備考〕

一、この表は、当用漢字表の配列に従い、字体は、活字字体のもとになる形で示した。

二、この表の字体には、(一)活字に従来用いられた形をそのまま用いたもの、(二)活字として従来二種以上の形のあった中から一を採ったもの、(三)従来活字としては普通に用いられていなかったものがある。この表では、(三)のうち著しく異なったものには、従来の普通の形を下に注した。

(二)の例

効効

叙叙叙

姉姉

略略

島島

冊冊

商商

編編

船船

満満

(三)の例

(1) 点画の方向の変わった例

10 当用漢字字体表

◎内閣訓令第一号

各 官 庁

当用漢字字体表の実施に関する件

さきに、政府は、現代国語を書きあらわすために日常使用する漢字とその音訓との範囲を定めて、当用漢字表および当用漢字音訓表を告示した。しかしながら、漢字を使用する上の複雑さは、その数の多いことや、その読みかたの多様であることによるばかりでなく、字体の不統一や字画の複雑さにももどづくところが少くないから、当用漢字表制定の趣旨を徹底させるためには、さらに漢字の字体を整理して、その標準を定めることが必要である。

よつて、政府は、今回国語審議会の決定した当用漢字字体表を採択して、本日内閣告示第一号をもつて、これを告示した。今後、各官庁においては、この表によつて漢字を使用するとともに、広く各方面にその使用を勧めて、当用漢字字体表制定の趣旨の徹底するように努めることを希望する。

昭和二十四年四月二十八日

内閣総理大臣 吉 田 茂

◎内閣告示第一号

現代国語を書きあらわすために日常使用する漢字の字体の標準を、次の表のように定める。

昭和二十四年四月二十八日

髟部		高部		骨部														
髪		高		体	髓	骨	駅	驚	駭	駭	騷	騰	騎	駐				
かみ	ハツ	たかい	コウ	タイ・テイ	ズイ	ほね	コツ	エキ	キョウ	おどろく	ケン	かける	ク	さわぐ	ソウ	トウ	キ	チュウ

鹿部		鹵部		鳥部				魚部				鬼部		鬥部						
麗		塩		鶏	鳴	鳥	鯨	鮮	魚	魘	魅	魂	鬼	闘						
うる	レイ	しお	エン	ケイ	メイ	なく・なる	チヨウ	とり	ゲイ	くじら	セン	ギョ	うお	マ	ミ	コン	たましい	キ	おに	トウ

		齒部		齋部		鼻部		鼓部						黒部		黄部		麻部		麦部	
齡		齒		齋		鼻		鼓		覚	点	黙	黒	黄	麻	麦					
	レイ	は	シ	サイ	ビ	は	な	つづみ	トウ	テン	モク	だまる	くろ・くろい	コク	き	コウ・オウ	あさ	マ	むぎ	バク	

青部	非部	面部	革部	音部	韻	響	頂	項	順	預	頤
青	非	面	革	音	韻	響	頂	項	順	預	頤
セイ・シヨウ・アオイ	ヒ	メン・オモ・オモテ	カク	オン・イン・オト・ネ	イン	キヨウ・ヒビク	チヨウ・イタダキ	ユウ	ジュン	ヨ・アズケル	ハン

食部	飛部		風部	頤部		頤部	頤部	頤部	頤部	頤部	頤部	頤部
食	翻	飛	風	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤
く う ・ た べ る シ ヨ ク ・ シ キ	ひ る が え る ホ ン	と ぶ ヒ	か ぜ ウ フ	ケ ン	か え り み る コ	ル イ	ね が う ガ ン	か お ン	ひ た い ガ ク	ダイ	あ た ま ト ウ ・ ズ	リ ヨ ウ

馬部	香部	首部										
馬	香	首	館	余	餓	養	飾	飽	飼	飯	飲	飢
う ま バ	か ウ	く ビ シ ユ	カ ン	あ ま る ヨ	ガ	や し な う ヨ ウ	か ぎ る シ ヨ ク	あ き る ホ ウ	か う	め し ン	の む ン イ	う え る キ

隣	障	際	隔	階	隊	隆	陽	陸	陷	陶	陵	陳
となり リ	シ ヨ ウ	サイ	カク へだ てる	カイ	タイ	リュ ウ	ヨウ	リク	カ ン お ち い る	トウ	リ ヨ ウ み さ さ ぎ	チ ン

隹部										隸部	隄	隨
離	雜	双	雌	雇	集	雅	雄	隻	隸	隄	隄	隨
は な れ る リ	ザ ツ ・ ゾ ウ	ソ ウ	シ め す ・ め	コ や と う	シ ユ ウ あ つ ま る	ガ	ユ ウ お す ・ お	セ キ	レ イ	イ ン か く れ る	ケ ン け わ し い	ズ イ

雨部											難	
靈	露	霧	霜	震	需	電	雷	零	雲	雪	雨	難
レ イ	つ ゆ	ロ き り	シ も ウ	シ ン ふ る う	ジュ	デ ン	カ ミ ナ リ	レ イ	ウ も	セ ツ ゆ き	ウ あ め	ナ カ タ イ

鏡	鎮	鎖	鍛	鍊	錯	銭	錠	錘	録	鋼	鋭	銘
かがみ キョウ	チン	サ くさり	タン きたえる	レン	サク	ゼ セン に	ジョウ	ス つ む イ	ロク	コウ	エイ す る ど い	メイ

門部							長部					
閤	閣	間	閑	開	閉	門	長	鉦	鑑	鑄	鉄	鐘
バツ	カク	カン あい だ・ ケ まん	カン	カイ ひらく	ヘイ とじる	モン かど	チョウ なが い	コウ	カン	チュウ いる	テツ	ショウ かね ウ

										阜部		
陰	陪	除	陣	院	陞	限	降	附	阻	防	関	関
カイン げん	バイ	ショ のぞく	ジン	イン	ヘイ	ゲン かぎる	コウ ふる・ おりる	フ	ソ	ボウ ふせぐ	カン せき	エツ

邑部												
郷	都	郵	郭	部	郡	郎	郊	邸	邪	邦	辺	還
キョウ ウ・ ゴウ	トヤ・ ツ	ユウ	カク	ブ	グン	ロウ	コウ	テイ	ジャ	ホウ	ヘン	カン

酉部												
酖	釀	医	醜	醉	酸	酷	酵	酪	酬	酢	酒	配
シャク	ジョウ	イ	シユウ みにく い	ス イ よう	サン	コク	コウ	ラク	シユウ	サ ク す	サ ケ シユ	ハイ くば る

金部											里部	
銑	銅	銃	銀	鉛	鈴	鈍	針	金	量	野	重	里
セン	ドウ	ジュウ	ギン	エン なまり	スズ	ド ン ぶ い	シン はり	キン ・ コ ン かね	リョウ はかる	ノヤ	ジュウ ・ カ サ ネ ル ・ エ おもい	サ ト

速	通	途	逐	透	逆	逃	送	退	追	迷	述	迭
ソク はやい	ツウ とおる・かよう	ト	チク	トウ すく	ギャク さからう	トウ にげる	ソウ おくる	タイ しりぞく	ツイ おう	メイ まよう	ジュツ のべる	テツ

道	過	遍	運	遊	遇	遂	逸	進	週	逮	連	造
ドウ みち	カ すぎる	ヘン	ウン はこぶ	ユウ あそぶ	グウ	スイ とげる	イツ	シン すすむ	シュウ	タイ	レン つらなる・つれる	ゾウ つくる

避	遺	選	遷	遵	遲	遭	適	遣	遠	逦	違	達
ヒ さける	イ・ユイ	セン えらぶ	セン	ジュン	チ おくれる	ソウ	テキ	ケン	エン・オン とおい	タイ	イ ちがう	タツ

身部										足部			
身	躍	踐	踏	踊	跳	路	跡	距	足	趣	越	超	
み シ ン	ヤ ク	セ ン	ふ ト ウ	お ヨ ウ ど る	チ ヨ ウ	じ ロ	あ セ キ と	キ ヨ	あ シ ・ た り る	お シ ユ も む き	こ エ ツ る ・ こ す	チ ヨ ウ	

												車部
輪	輪	輦	輝	輦	載	較	軸	軟	軒	軍	軌	車
エ ワ ン		ハ イ	か キ が や く	か ケ イ る い	の セ イ る	カ ク	ジ ク	ナ ン	の キ ン	グ ン	キ	く シ ャ る ま

				走部		辰部		辛部				
迫	返	近	迎	迅	込	農	辱	辭	弁	辛	転	轄
せ ハ ク ま る	か ヘ ン す	ち キ ン か い	む ゲ イ か え る	ジ ン	こ む	ノ ウ	ジ ヨ ク	ジ	ベ ン	か シ ン ら い	テ ン	カ ツ

貝部											
貴	貳	貯	責	貫	販	貨	貧	貢	財	負	貞
キ	ニ	チヨ	セキ せめる	カン つらぬく	ハン	カ	ヒン・ビン まずしい	コウ	ザイ	フ おう・まける	カイ テイ

賄	賞	賜	賓	賊	資	賄	質	賀	質	費	貸	買
バイ	ショウ ウ	シ たまわる	ヒン	ゾク	シ	ワイ	チン	ガ	ボウ	ヒ ついやす	カ タイ	カ ウ

走部			赤部									
起	赴	走	赦	赤	賛	贈	購	頼	質	賦	売	賢
キ おきる・おこる	フ	ソウ はしる	シャ	セキ・シヤク あか・あかい	サン	ゾウ おくる	コウ	ライ たのむ	シツ・シチ	フ	バイ うる	ケン かしこい

七五

諾	諸	諮	諭	論	請	談	調	課	說	誤	誠	語
ダク	シヨ	シ	ユ	ロン	セイ こう・ うける	ダン	チヨウ しるべる	カ	セツ・ ゼイ	ゴ あやまる	セイ まこと	ゴ かたる

訳	警	譜	識	証	謹	謠	謝	講	謙	膳	謁	謀
わヤ けク	ケイ	フ	シキ	シヨウ	キン	ヨウ うたい	シャ	コウ	ケン	トウ	エツ	ボウ

			豕部		豆部	谷部						
予	豪	象	豚	豊	豆	谷	讓	変	読	誉	護	議
ヨ	ゴウ	シヨウ・ ゾウ	ブ た	ホ う か	マ ウ・ ズ	コ ク たに	ジュ ウ ゆる	カ ヘ ン わる	ドク・ トク よむ	ヨ ホ まれ	ゴ	ギ

言部				角部								
規	視	親	覺	覽	觀	角	解	触	言	訂	計	討
キ	シ	シ	カク	ラン	カン	カク	カイ・ゲ	シヨク	ゲン・ゴン	テイ	ケイ	トウ
		おや・したい	おぼえる			つの	とく	ふれる	いう・こと		はかる	うつ

訓	託	記	訟	訪	設	許	訴	診	詐	詔	評	詞
ク	タ	キ	シヨウ	ホウ	セツ	キヨ	ソ	シン	サ	シヨウ	ヒヨウ	シ
ン	ク		ウ	おとずれる	もうける	ゆるす	うったえる			みこと		
										のり		

詠	試	詩	詰	話	該	詳	誇	誌	認	誓	誕	誘
エイ	シ	シ	キツ	ワ	ガイ	シヨウ	コ	シ	ニン	セイ	タン	ユウ
	こころみる		つめる	はなす		くわしい	ほこる		みとめる	ちかう		さそう

血部			虫部				虎部					
衆	血	蚤	蚤	虫	融	蚊	号	虞	虜	虚	処	虐
シ ユウ・ シユ	ち ケツ	パン	サ ン コ	チ ユウ ムシ	ユウ	カ	ゴウ	お それ	リョ	キョ・ コ	ショ	ギョク

衣部											行部	
裁	被	袋	衷	衰	表	衣	衡	衛	衝	街	術	行
サイ たつ	ヒ こうむる	タイ ふくろ	チュウ	スイ おとろえる	あらわす・おもて	イ ころも	コウ	エイ	ショウ	ガイ	ジュツ	コウ・ギョウ・ウ・ア ン・ユク・ユク・おこなう

見部	西部											
見	覆	要	西	襲	複	製	裸	装	補	裕	裏	裂
みる ケン	フク	ヨウ	セイ・サイ にし	おそう シュウ	フク	セイ	はだか ラ	ソウ・シ よそおう ウ	おぎなう ホ	ユウ	うら リ	さく レツ

										艸部	色部	長部	
茂	英	苦	若	苗	芽	芳	花	芝	芋	色	良	艦	
しモ げる	エイ	ク くる しい・ にがい	ジャ わかい・ もしくは	ビョ なえウ	めガ	ホウ かんば しい	カ はな	しば	いも	シヨ いろク・ シキ	リヨ よいウ	カン	

落	万	華	菜	菓	菌	菊	茎	莊	荷	荒	草	茶	
ラク おちる	マン・ バン	カ	サイ な	カ	キン	キク	ケイ くき	ソウ	カ に	コウ あら い・あ れる	ソウ くさ	チャ	

藩	葉	芸	蔵	薫	薪	薦	薄	蓄	蒸	葬	著	葉	
七 一	ハン	ヤク くすり	ゲイ	ゾウ くら	クン	シン	セン	ハク うすい	チク	ジョウ むすウ	ソウ ほうむ る	チヨ あらわ す・い ちじる しい	ハ ヨウ

腸	腰	腦	腕	腐	脹	脱	脚	脈	膏	脂	能	胸
チ ヨ ウ	こ し ウ	ノ ウ	う で ン	く さ る	チ ヨ ウ	ぬ ぐ ツ	キ ャ ク	ミ ャ ク	お び や か す	シ	ノ ウ	む ね キ ヨ ウ

至部			自部			臣部						
台	致	至	臭	自	臨	臣	臍	胆	膨	膜	膚	腹
ダイ・タイ	チ	いたる	くさい	みずから	のぞんむ	シン	ゾウ	タン	ボウ	マク	はだ	はらク

				舟部		舛部		舌部		白部		
艇	船	舶	般	航	舟	舞	舗	舎	舌	旧	興	与
テ イ	ふ せ ン	ハ ク	ハ ン	コ ウ	ふ ね シ ユ ウ	ま う	ホ	シ ャ	し ぜ ツ	キ ユ ウ	お こ る	あ た え る コ ウ ・ キ ヨ ウ

七〇

老部		羽部					羊部					
老	翼	習	翌	翁	羽	義	群	釐	美	羊	罷	署
ロウ おいる	ヨク つばさ	シュウ ならう	ヨク	オウ	ウ は・はね	ギ	グン むらがる・むれる	チャク きる・つく	ビ うつくしい	ヨウ ひつじ	ヒ	ショ

肉部		聿部						耳部		耒部		而部	
肉	肅	聰	職	声	聞	聖	耳	耗	耕	耐	者	考	
ニク	シユク	チヨウ	シヨク	セイ こえ	ブン きく	セイ	ジ みみ	モウ	コウ たがやす	タイ たえる	シャ もの	コウ かんがえる	

胴	胞	胎	背	胃	肺	育	肯	肪	肩	肥	肝	肖
ド ウ	ホ ウ	タ イ	せ ハ イ	イ	ハ イ	そ だ て る	コ ウ	ボ ウ	か た ン	こ え る	き カ ン	シ ョ ウ

線 緒 緊 綿 網 綱 維 緑 経 絹 糸 統 給

セ ン	お シ ニ	キ ン	わ メ タ ン	あ モ み ウ	つ コ な ウ	イ	み リ ヨ ク ・ ロ ク	へ ケ イ ・ キ ヨ ウ	き ケ ぬ ン	い シ と	す ト べ る	キ ユ ウ
--------	-------------	--------	------------------	------------------	------------------	---	---------------------------------	---------------------------------	------------------	-------------	------------------	-------------

績 総 縦 縮 縫 罎 縛 練 緯 緩 編 縁 締

セ キ	ソ ウ	た ジ ユ ウ	ち シ ユ ウ	ぬ ホ う ウ	ケ ン	し バ ク る	ね レ ン	イ	カ ン	あ へ む ン	ふ エ ン	し マ る
--------	--------	------------------	------------------	------------------	--------	------------------	-------------	---	--------	------------------	-------------	-------------

罎部 罎部

罰 置 罪 欠 織 続 繼 繰 繭 綵 繕 織 纂

バ ツ	お チ く	つ ザ み イ	か ケ ツ る	セ ン	つ ゾ グ ク	つ ケ グ イ	く る	ま ケ ン	カ イ ・ エ	つ ゼ ン	お る	シ ヨ ク ・ シ キ	ハ ン
--------	-------------	------------------	------------------	--------	------------------	------------------	--------	-------------	------------------	-------------	--------	----------------------------	--------

米部											
糧	糖	精	粹	粧	粘	粗	粒	粉	米	籍	簿
リ ヨ ウ	ト ウ	セイ ・ シ ョ ウ	スイ	シ ョ ウ	ネ ン ね ぼ る	ソ	つ ぶ リ ユ ウ	フ ン コ ナ ・ コ	ベ イ ・ マ イ こ め	セ キ	ボ
											カ ン

糸部											
紡	素	紛	級	紙	純	納	紋	紅	約	紀	糾
つ む ぐ ボ ウ	ソ ・ ス	フ ン ま ぎ れ る	キ ユ ウ	シ カ ミ	ジュン	ノ ウ ・ ト ウ ・ ナ お さ め る	モ ン	コ ウ ・ ク く れ な い ・ ベ に	ヤ ク	キ	キ ユ ウ
											ケ イ

絡	絞	絶	結	組	終	紺	紹	紳	細	果	紫	縹
ラク	シ ボ ウ ・ し め る	ゼ ツ た え る	ケ ツ む す ぶ ・ ゆ う	ソ ク む	シ ユ ウ お わ る	コ ン	シ ョ ウ	シ ン	サイ ほ そ い ・ こ ま かい	ル イ	シ む ら さ き	サ ク

穴部												
窯	窮	窓	窰	突	空	究	穴	樓	穩	穗	積	穀
ヨウ	キユウ きわめる	ソウ まど	チツ	ツツ	クウ そら	キウ ウ	ケツ あな	カク	オン おだやか	スイ ほ	セキ つむ・つもる	コク

竹部										立部		
竊	並	章	童	端	競	竹	笑	笛	符	第	簞	
セツ	たつ	ヘイ なみ・ならべる・ならびに	シヨウ	ドウ	タン はし	キヨウ きそう・ケイ	チク たけ	シヨウ わらう	テキ ふえ	フ	ダイ	フヒツ で

篤	築	範	節	箱	管	算	箇	策	答	筒	筋	等
トク	チク きづく	ハン	セツ ふし	ハコ	カン くだん	サン	カ	サク	トウ こたえる	ツツ	キン すじ	トウ ひとしい

示部

秘	祉	祈	社	示	礎	礎	磁	確	碑	碎	碁	硬
ヒ	シ	いの る	キ や し る	シ め す	ソ い し ず え	シ ョ ウ	ジ	カ カ し か	ヒ	ク サ イ だ く	ゴ	コ ウ

禾部

私	秀	礼	禪	福	禍	禁	祭	票	祥	神	祝	祖
シ わ た く し	シ ユ ウ	レ イ	ゼ ン	フ ク	カ	キン	サイ ま つ る	ヒ ョ ウ	シ ョ ウ	カ シ ン ・ ジ ン	シ ユ ク い わ う	ソ

稿	稻	称	種	稚	程	税	移	秩	租	秒	科	秋
コ ウ	ト ね ウ	シ ョ ウ	シ ユ タ ね	チ	テ イ	ゼ イ	イ ウ つ る	チ ツ	ソ	ビ ョ ウ	カ	シ ユ ウ あ き

皿部			皮部			白部						
尽	盟	盜	盛	益	盆	皮	皇	皆	的	百	白	發
つじんす	メイ	トウ ぬすむ	セイ・ジ さかり・ヨウ もる	エキ	ボン	カヒ かわ	コウ・オウ	カイ みな	マ と	テ キ	ハク・ビ しろ・ヤク いろ	ハツ・ホツ

目部												
睡	眼	眠	真	看	省	盾	相	直	盲	目	盤	監
スイ	まなこ	ねむる	シン	カン	セイ・シヨウ かえりみる・はぶく	ジュン	ソウ・シヨウ あい	チヨク・ジキ なおす・ただちに	モウ めくら	モク め	バン	カン

石部						矢部	矛部					
硫	硝	研	破	砲	砂	石	短	知	矢	矛	瞬	督
リュウ	シヨウ	ケン	ハ やぶる	ホウ	サ・シャ すな	セキ・シャク・コク いし	タ みじかい	チ しる	ヤ	ム	シュン	トク

田部		用部		生部		甘部						
町	男	申	甲	由	田	用	産	生	甘	璽	環	琴
まち	チヨウ	おとこ	ダン・ナン	シン もうす	ユウ・ユ よし	コウ・カン	ヨウ・ウ もちいる	サ うむ	な ま	い きる・シヨウ うまれる・き	カン	キン こと

疋部												
疎	疊	当	異	画	番	略	畝	畜	留	畔	畑	界
ソ	シヨウ たたみ	トウ あたる	イ ことなる	ガ・カク	バン	リヤク	せ	チク	リュウ・ル とめる	ハン はた・はたけ		カイ

疋部											疋部	疑
登	癖	療	痴	痢	痛	痘	症	病	疾	疲	疫	疑
トウ・ト	ヘキ クセ	リヨウ	チ	リ	ツウ いたむ	トウ	シヨウ	ヤヨウ やむ・やまい	シツ	ヒ つかれる	エキ	キ うたがう

			牛部	片部	父部				爪部			
牲	物	牧	牛	版	片	父	爵	為	争	烜	爆	燥
セイ	もの	ブツ・モツ	ギョウ	ハン	ヘン	フ	シヤク	イ	ソウ	ロ	バク	ソウ
					カ	チ			アラソウ			

												犬部
獲	独	獄	猶	猛	狹	狩	狂	状	犯	犬	犧	特
エ	カ	ド	ゴ	ユ	モ	セ	キ	ク	ジ	オ	イ	ギ
ク	ク	ク	ウ	ウ	マ	ヨ	ウ	ウ	ハ	ケ	ヌ	ト
					イ	リ			カ			ク

						玉部	玄部					
理	球	現	班	珠	珍	王	玉	率	玄	獻	獸	玃
リ	キ	ゲン	ハン	シュ	チ	オ	ギ	ヒ	ゲン	ケン	ジュ	リ
	ユウ	ア			メ	ウ	タ	キ		ン	ウ	ウ
		ラ			ズ		マ	イ		・	の	
		ワ			ラ		ク	ソ		コ		
		レ			シ			ツ		ン		

湿	濃	濁	激	沢	澄	洩	潮	潤	潜	潔	漸	漫
しめる	こい	ダク に ごる	はげ しい	さわ	すむ	しぶ ・ しぶ	しお	うる お	ひそ	いさ ぎ	ゼン	マン
ツ	ウ		キ	ク	ウ	ユ	ウ	ン	ム	ッ		

火部

烈	炭	炎	炊	災	灰	火	灣	瀨	滝	浜	濫	渚
レ	すみ	ほの お	スイ	わざ わ	さい い	ひ	ワ	せ	た	は	ラン	す
ッ	ン	ン	イ	イ	イ	カ	ン		き	ま	ン	サイ

營	焼	燈	燃	熱	熟	煩	照	煙	煮	然	焦	無
いと	やく	ト	も	あ	わ	ハ	て	け	に	ゼ	こ	ない
な	ウ	ウ	え	つ	ず	ン	シ	エ	シ	ン	ショ	ム
む			る	い	く	わ	ョ	ム	ャ	・	ウ	・
						ず	ウ	り		ネ		ブ
						ら						
						わ						
						し						
						い						

混	深	浄	淡	涙	淑	涼	液	渉	消	浸	海	浴
ま ぜ る	コ ン ふ か い	シ ン ジ ョ ウ	あ わ い	タ ン な み だ	ル イ シ ユ ク	す ず し い	リ ョ ウ エ キ	シ ョ ウ	き え る ・ け す	シ ン ひ た す	カ イ う み	あ び る ヨ ク

温	準	源	湯	湖	渴	港	測	渡	減	添	浅	清
オ ン	ジ ユ ン	み な も と ゲ ン	ゆ ト ウ	み ず う み コ	カ ツ	み な と コ ウ	は か る ソ ク	わ た る ト	へ る ゲ ン	そ え る テ ン	あ さ い セ ン	き よ い セ イ

漠	演	漏	漆	漂	漁	満	滴	滯	滑	滋	滅	溶
カ ン	エ ン	も る ・ も れ る ロ ウ	う る し シ ツ	た だ よ う ヒ ョ ウ	ギ ョ ・ リ ョ ウ	み ち る マ ン	テ キ	と ど こ お る タ イ	カ ツ	ジ	ほ ろ び る メ ツ	ト け る ヨ ウ

水部											気部	
没	沈	汽	決	池	江	汚	汗	求	永	氷	水	氣
ボツ	チン しずむ	キ	ケツ きめる	チ いけ	ユウ え	オ けがす	カン あせ	キユウ もとめる	エイ	ヒヨウ こおり	スイ みず	キ・ケ

波	法	泌	泊	泉	況	沿	沼	治	油	沸	河	沖
なハ ミ	ホ ウ	ヒ ツ	とハ ク ま る	いセ ズン み	キ ヨウ	そエ ン	ぬシ マ ウ	おチ さ・ ジ める	あユ ぶ ら	わフ ツ	カ	お き

浮	浪	浦	流	派	活	津	洗	洋	泳	泰	注	泣
うフ く・ うか ぶ	ロ ウ	うホ ラ	リユ ウ・ ル	ハ	カ ツ	つ	あセ ン ら う	ヨ ウ	おエ ヨ グ	タ イ	そチ そユ ウ	キユ ウ

欠部												
欸	欺	欲	次	權	欄	桜	検	横	機	橋	樹	様
カン	ギ あざむく	ヨク ほつする	ジ・シ つぐ	ケン・ゴン	ラン	オウ さくら	ケン	オウ よこ	キ はた	キョウ はし	ジュ	ヨウ さま

歹部						止部					
殊	殉	死	帰	歴	歳	武	歩	正	止	欲	歌
シュ	ジュン	シ しぬ	キ かえる	レキ	サイ・セイ	プ・ム	ホ・ブ あゆむ・あるく	セイ・シ ただし	シ とまる	カン	カ うた・うたう

氏部		毛部		比部		母部		殳部		殳部		殳部	
民	氏	毛	比	毒	每	母	毆	殿	殺	段	殘	殖	
たみん	うしじ	けもう	くらべる	ドク	マイ	ボ はは	オウ	テン・デン どの・との	サツ・サイ ころす	ダン	ザン のこる	シヨク	

五八

株	校	柳	柱	査	柔	染	某	柄	架	枯	枝	果
かぶ		コウ	リユウ	ハシラ	サ	ジュウ・カ	ソセム	ボウ	ヘイ	カ	シ	ハカ
		やなぎ			やわらかい				え・がら	かれる	えだ	はたす

棒	棋	棄	械	条	梅	桑	案	桃	栽	格	根	核
ボウ	キ	キ	カイ	ジョウ	ウメ	クソウ	アン	モトウ	サイ	カク	ネコン	カク

模	枢	標	楼	楽	概	構	榮	極	業	植	棺	森
モ・ボ	スウ	ヒョウ	ロウ	ラク・ガク	ガイ	カマエ	エイ	キョク・ゴク	ギョウ・ゴウ	シヨク	カン	モリ
				たのしい			さかえる			うえる		

五七

日部																				
會	最	替	書	更	曲	曜	曉	曇	曆	暴	暮	暫								
あ う	カ イ	も つ	サ イ	か え る	タ イ	シ ヨ	か く	さ ら に	コ ウ	ま が る	キ ヨ ク	ヨ ウ	あ か つ き	ギ ヨ ウ	く も る	レ キ コ よ み	ボ ウ	ボ ウ	く れ る	ザ ン
	エ																バ ク	く ら す		

木部											月部	
札	本	末	未	木	期	朝	望	朗	朕	服	有	月
ふ だ ツ	サ ツ ホ ン	マ ツ す え	ミ 	ボ ク ・ モ ク き	キ ・ ゴ 	あ さ チ ヨ ウ	の ぞ む ボ ウ ・ モ ウ	ほ が ら か ロ ウ	チ ン 	フ ク 	あ る ユ ウ ・ ウ	つ き ゲ ツ ・ ガ ツ

枚	林	析	板	松	東	杯	東	村	材	朽	机	朱
マ イ	ハ ヤ シ	セ キ	ハ ン	マ ツ	ヒ ガ シ	サ カ ズ キ	ハ イ	タ ソ ク	ム ソ ン	ザ イ	ツ ク エ	シ ユ
			・ バ ン							ク チ ウ		

五六

斗部				斤部				方部			
斗	料	斜	斤	斥	新	断	方	施	旅	旋	族
ト	リョウ	シヤ ななめ	キン	セキ	シン あらた・あたらしい	ダン たつ・ことわる	ホウ かた	シ・セ ほどこす	リョ たび	セン	ゾク
は	キ	た									

无部										日部
既	日	旨	早	旬	昇	明	易	昔	星	映
キ すでに	ジツ・ニチ ひ・か	シ むね	ソウ はやい	ジュン	ショウ	メイ・ミョウ あきらか・あける・あか	エキ・イ るい	セキ・シャク むかし	セイ・シヨウ ほし	エイ うつる
サ	ク	は	る	ン						

昭	是	時	晚	屋	普	景	晴	晶	暇	暑	暖	暗
ショウ	ゼ	ジ とき	バン	チュウ ひる	フ	ケイ	セイ はれる	シヨウ	カ ひま	シヨ あつい	ダン あたたかい	アン くらい

担	操	撃	扱	擁	撲	撮	撤	摩	摘	挫	携	搬	
タン	みさお	ソウ	うつき	タク	ヨウ	ボク	サツ	テツ	マ	つむき	サク	ケイ たずさえる	ハン

													支 部	支 部		
故	政	放	攻	改	収	支	撰	抃	擬	挙	擦	扱	キ ョ ・ コ			
コ	ま つ り ご と	セイ・シ ョウ	はなす・はな つ	ホウ	せ め る	コウ	あ ら た め る	カイ	シ ユ ウ	お さ め る	シ	セ ツ	カ ク	ギ	キ ョ	サ ツ

文部												
叙	教	敏	救	敗	敢	散	敬	敵	敷	数	整	文
ジヨ	キヨウ おしえる	ビン	キユウ すくう	ハイ やぶれる	カン	サン ちる	ケイ うやまう	テキ	フ しく	スウ かず・かぞえる	セイ ととのえる	ブン・モン

指	持	拾	撈	括	拝	招	拙	拘	拔	拓	拒	拍
ゆシ び	もシ つ	ひシ ろウ ・ ジュ ウ	ゴ ウ	カ ツ	おハ がイ む	まシ ねウ	セ ツ	コ ウ	ぬバ ツ	タ ク	キ ョ こ ぼ む	ハク・ヒョ ウ

振	捕	捨	掃	授	掌	排	掘	擲	採	探	接	控
ふる	とらえる	しゃ すてる	ソウ はく	ジュ さずける	シヨウ	ハイ	クツ ほる	かける	サイ とる	タン さぐる	セツ	コウ ひかえる

搜	揺	損	援	揮	掲	握	換	揚	提	描	措	推
さ ソ ウ が す	ゆ ヨ ウ れ る	ソ ン	エ ン	キ	か ケ イ か け る	ア ク に ぎ る	カ ン か え る	あ ヨ ウ げ る	テ イ	え ビ ョ ウ が く	ソ	ス イ お す

五三

戈部

成	恋	懸	懷	懲	応	懇	憾	憶	憲	憩	憤	憎
なる セイ・ ジョウ	こい レン・ こい しい	ケン・ ケ	カイ	こら スウ チャウ	オウ	コン	カン	オク	ケン	ケイ	い き ど お る	ゾウ ウ む に

手部

戸部

扶	扱	打	才	手	扇	所	房	戸	戯	戦	戒	我
フ	あ つ かう	ダ ウ ツ	サイ	テ シュ	セン オウ ギ	シ ョ と ころ	ボウ	と コ	ギ た わ む れる	セン た た かう	カイ い ま し め る	ガ わ れ

扌 抽 押 抵 抱 折 抗 投 抑 抄 技 承 批

扌	抽	押	抵	抱	折	抗	投	抑	抄	技	承	批
は ら う フ ツ	チュウ	オウ オス・ おさ える	テイ	ホウ だ く	セツ お る	コウ	トウ な げ る	ヨク	シヨウ	ギ	ショウ ウ う け た ま わ る	ヒ

情	悼	悲	患	悟	悔	悦	息	恭	恩	恨	恥	恐
なジョウ さけウ	トウ	かなしい	カン	ゴ さ と る	カイ く い る ・ く や む	エツ	ソク い き	キョウ	オン	コン う ら む	チ は じ る	キョウ お そ れ る ・ お そ ろ し い

感	愛	愚	意	愉	愁	想	悩	惰	悪	恵	惜	惑
カン	アイ	グ お ろ か	イ	ユ	シュウ	ソウ	ノウ や む	ダ	ワ る い	ケイ め ぐ む ・ エ	セ お し い	ワ ま ど う

憂	慶	慰	慮	慨	慣	慢	惨	慕	慌	態	慈	慎
ユウ う れ い ・ う れ え る	ケイ	イ な ぐ さ め る	リョ	ガイ な れ る	カン な れ る	マン	サン	ボ し た う	コウ	タイ	ジ	シン つ つ し む

イ部											
得	徒	徑	徐	後	律	待	征	往	彼	役	彰
え トク る	ト	ケイ	ジョ	ゴ・コウ うしろのち	リツ	まつ タイ	セイ	オウ	かれ ・か の	エキ・ヤク エ かげ イ	ショウ ウ

心部											
志	忍	忌	必	心	徹	徳	徴	徴	循	復	従
シ こころ なす	ニ しのぶ	キ いむ	ヒツ かならず	シン こころ	テツ	トク	チョウ	ビ	ジュン	フク おん	ジュウ したがう ギョ・ゴ

五〇											
恒	怪	性	急	怠	思	怖	怒	念	快	忠	忙
コウ	カイ あやしい	セイ・シヨウ	キユウ いそぐ	タイ おこたる	シ おも	フ	ド いかる	ネン	カイ こころよい	チウ いそがしい	ボウ わすれる

广部										玄部		
庭	庫	座	度	府	店	底	序	床	幾	幽	幼	幻
にテ わイ	コ	ザ	ド	フ	みテ みセン	そテ こイ	シヨ	とシヨ こ・ウ ゆか	いく	ユウ	ヨウ おさない	ゲン まぼろし

弋部	升部	爻部										
式	弊	建	廷	延	庁	広	廢	廊	廉	庸	康	庶
シキ	ヘイ	ケン たてる	テイ	エン のびる ・ のべ	チョウ	ヒロウ ひろい	ハイ	ロウ	レン	ヨウ	コウ	ショ

彡部											弓部	
彫	彩	形	弾	強	張	弱	弧	弦	弟	引	弔	弓
チヨウ ほる	サイ	ケイ・ギョウ かたち・かたウ	ダン	キョウ・ゴウ つよい	チヨウ はる	ジャク よわい	コ	ゲン つる	テイ・ダイ おとうと	イン ひく	チヨウ とむらう	キョウ ゆみ

ㄱ部

巢	巡	州	川	岳	崩	崇	峽	島	峰	峠	岸	岩
すソ ウ	めジュ ぐるン	シユ ウ・ス	かセ わン	たけ ガク	ホ ウ	ス ウ	キョ ウ	しま ウ	みホ ねウ	とう げ	きガ しン	いガ わン

巾部 己部

師	帥	帝	希	帆	布	市	己	差	巨	巧	左	工
シ	スイ	テイ	キ	ほハ ン	ぬフ の	いシ ち	コ・ キ	さサ す	キョ ウ	たコ ウ み	ひサ だり	コウ ・ク

干部

幹	幸	年	平	干	幣	幕	幅	帽	常	帯	帳	席
みカ ン	さい ウ わい	とし ネン	たい ヘイ・ ビョウ ウ たい	ほす ・ひる カン	ヘイ	マク ・バク	はフ ク	ボウ	つジョ ウ ウ	おび ・おび る タイ	チョ ウ	セキ

寸部												
封	寺	寸	宝	寮	寛	写	審	寧	実	寢	寡	寮
フウ・ホウ	てシ ら	スン	ホウ たから	リョウ	カン	シャ うつす	シン	ネイ	み シツ みのる	シ ン ねる	カ	サツ

戸部 尤部 小部												
尼	尺	就	少	小	導	対	尋	尊	尉	專	将	射
ニ あま	シャク	シュウ・ジュ	シヨウ すくない・すこし	シヨウ ちいさい・こ・お	ドウ みちびく	タイ・ツイ	ジン たずねる	ソン たつとい	イ	セン	シヨウ	シャ いる

山部												
岐	山	属	履	層	展	屋	屈	届	居	局	尿	尾
キ	やサ まン	ゾ ク	リ	ソ ウ	テ ン	やオ ク	ク ツ	とど ける	キ ヨ る	キ ヨ ク	ニ ヨ ウ	おビ

子部

孫	孤	季	孝	存	字	孔	子	孃	嫡	嫁	媒	婿
まソ ごソ	コ	キ	コウ	ソ ン ・ ソ ン	あジ ぎ	コウ	こシ ・ ス	ジョウ	チャ ク	よカ め	バイ	むセ こイ

宀部

宣	客	宜	定	宙	官	宗	完	安	守	宇	宅	学
セン	カク ・ キヤク	ギ	テイ ・ ジョウ	チュウ	カン	ソウ ・ シュウ	カン	ア ン ・ イ	ま も る	ウ	タク	ガク ま な ぶ

寒	富	密	寄	寂	宿	容	家	宴	害	宰	宮	室
さ む い	と む	ミツ	キ よ る	ジャ ク さ び しい	シ ュ ク や ど ・ や ど る	ヨウ	カ ・ ケ い え ・ や	エン	ガイ	サイ	ミ ヤ キ ュ ウ ・ グ ウ ・ ク	シ ツ む ろ

天	太	夫	央	失	奇	奉	奏	契	奔	奥	奪	獎
あめ テン	たい・ タ ふとい	おつと フ	おう オウ	うしなう シツ	き キ	たてまつる ホウ	ソウ	けい ちぎる	ホン	おく・ オウ	うばう ダツ	しょう ウ

女部												
奮	女	奴	好	如	妃	妊	妙	妥	妨	妹	妻	姉
ふるう フン	おんな ジョ・ニョ	ド	このむ・すく コウ	ジョ・ニョ	ヒ	ニン	ミョウ	ダ	ボウ さまたげる	マイ いもうと	サイ つま	あね シ

始	姓	委	姫	姻	姿	威	娘	娛	娠	婆	婚	婦
はじめる シ	せい・ ショウ ウ	イ	ひめ イン	イン	すがた シ	イ	むすめ 娘	ゴ	シン	バ	コン	フ

城	域	執	培	基	堂	堅	堤	堪	報	場	塊	塑
ジョウ しろ	イキ	シツ・ とる シュウ	バイ	キ もとい・ もとづく	ドウ	ケ かたい	テイ つつみ	カン たえる	ホウ むくいる	ジョウ ば	カイ	ソ

塔	塗	境	墓	墜	増	墨	墮	墳	壘	壁	壇	庄
トウ	トル ぬる	キョウ さいウ・ ケイ	ボ はか	ツイ	ゾ ますウ	ボク すみ	ダ	フン	コン	ヘ かベキ	ダン	アツ

壘	壊	士	壮	老	寿	夏	夕部	外	多	夜	夢	大部
ルイ	カイ	シ	ソウ	イチ	ジュ ことぶき	カ なつ	セキ ゆう	ガイ・ そと・ ほか	タ おおい	ヤ よ・ よる	ム ゆめ	ダイ・ おおい

嚇	噴	器	嘆	嗣	單	喫	喪	喜	喚	善	啓	問
カク	フン	うキ つわ	な げ く	シ	タン	キツ	も ソ ウ	よ ろ こ ぶ	カン	ゼン	ケイ	と う ン

口部												
円	園	圀	国	園	固	困	因	回	四	囚	囑	齧
エン	その エン	かこむ イ	コク ク	ケン	コ かためる	コン こまる	イン よる	カイ・エ まわす	シ よつ	シュウ	シヨク	ゲン・ゴン

土部																	
埋	型	垂	坪	坑	坊	均	坂	地	在	土	団	囷					
う め る	マ イ	か た イ	ケ イ	ス イ	つ ぽ	コ ウ	ボ ウ	キ ン	さ か ン	ハ ン	チ ・ ジ	ザ イ	つ ち	ト ・ ド	ダ ン	は か る	ズ ・ ト

吏	后	名	同	吉	合	各	司	右	史	可	召	叫
リ	コウ	な	メイ・ミヨウ	ドウ	キチ	ゴウ	カク	シ	ユウ・ウ	シ	カ	サキョウ
			おなじ			あう	おの		みぎ		めす	けぶ

味	周	告	吹	吸	吳	呈	含	否	吟	君	向	吐
あじ	ミ	ツ	コク	ス	キウ	ゴ	テイ	フ	ヒ	ギン	ク	ハ
	シユウ	げ	ふ	イ	ウ		テ	ガ	ナ	キン	ム	ト
		る					ム	ン			ウ	ク
											・	
											む	
											かう	

商	唱	唯	唐	唆	哲	員	品	哀	咲	和	命	呼
あ	シ	シ	ユ	ト	サ	テ	ヒ	ア	さ	ワ	メ	コ
き	ヨ	ユ				ッ	シ	あ	く	や	イ	よ
な	ウ					ン	な	わ		わ	の	ぶ
う							れ	れ		ら	ち	
										ぐ	・	
											ミ	
											ヨ	
											ウ	

十部										匚部	匚部	
卓	卒	卑	半	午	升	千	十	区	匿	匹	匠	北
タク	ソツ	ヒ いやしい	ハ なかば	ゴ	シ ョウ ウ	チ セン	と ジュ ウ とお	ク	トク	ヒ キ・ ヒツ	シ ョウ ウ	ホ きた タ

厂部					冂部					卜部		
厚	厘	即	卸	卷	卵	却	危	印	占	博	南	協
コ ウ ツ イ	リン	ソク	オ ろ す	カ ン	ラ ン タ ま ご	キ ャク	キ ア や う い	イ ン し る	セ ン し め る ・ う ら な う	ハク	ミ ナ ン み	キ ョウ

口部					又部					厶部		
句	古	口	受	取	叔	反	友	及	又	参	去	原
ク	コ ふる い	コ ウ・ ク	ジュ うける	シュ とる	シュ ク	ハン・ タン	ユウ ども	キユウ および・お よび	また	サン まいる	キョ・ コ	ゲン はら

剣	劓	劇	創	割	副	剩	剛	刮	前	削	則	刻
つケン るぎ	ザイ	ゲキ	ソウ わる	カツ	フク	ジョウ ウ	ゴウ	ボウ	まゼン え	けサ ずる	ソク	ユク きざむ

力部												
勘	勳	勉	勇	勅	効	効	努	助	劣	加	功	力
カン	ドウ うごく	ベン	ユウ いさ ましい	チヨク	ガイ	コウ	ド つとめる	ジョ たすける・すけ	レツ おとる	カ くわえる	コウ・ク	リキ・リョク ちから

匕部			勺部									
化	包	匚	勺	勸	励	勲	勤	勢	募	勞	勝	務
カ・ケ ばける	ホウ つつむ	もんめ	シャク	カン すすめる	レイ はげむ	クン	キン つとめる	セイ いきおい	ボ つのる	ロウ	ショウ かつウ	ツム つとめ

一 部			冂 部			八 部						
冗	冒	再	冊	兼	典	具	兵	共	六	公	八	兩
ジョウ	おかす	サイ ふたたび	サツ	かねる	テン	グ	ヘイ	キョウ	むつ	ロク	コウ おやおけ	リョウ

刀部			冂部			几部			冫部													
切	分	刃	刀	出	凶	凡	凝	凍	准	冷	冬	冠										
きる	セツ・サイ	わける	ブン・フン・ブ	は	ジン	かたな	トウ	シュツ・スイ	でる・だす	キョウ	ボン	こる	ギョウ	トウ	こおる・こごえる	ジュン	ひえる・つめたい	レイ	ふゆ	トウ	かんむり	カン

刈	刊	刑	列	初	判	別	利	到	制	刷	券	刺	
かる	カン	ケイ	レツ	はじめ・はつ・はじめて	ハシヨ	ハン	ベツ わかれる	リ	トウ	セイ	サツ する	ケン	シ さす

償	伝	催	備	傑	傍	偶	側	健	停	偏	偉	仮
サイ	つデ たエン える	もサイ よおす	そビ なえる	ケツ	ボウ	グウ	かわ ソク	すケン こやか	テイ	ヘン	えイ らい	かり カ・ケ

償	儒	儉	億	儀	価	僧	偽	僚	像	勸	傾	傷
つシ グ なウ	ジュ	ケン	オク	ギ あたい	カ あたい	ソウ	ギ いつわる	リョウ	ゾウ	は たらく	か たむく	き ず ショウ

入部						几部						
全	内	入	児	免	克	光	先	兆	充	兄	元	優
ゼ つ たく	ナイ・ダイ うち	ニ ユウ いる	ジ・ニ	メン まぬかれる	コク	コウ ひかる	セン さき	チヨウ	ジュウ あてる	ケイ・キョウ あに	ゲン・ガン もと	ユウ やさしい

例	来	使	佳	作	仏	何	佐	住	低	位	但	似
レイ	くる	ライ	つかう	カ	つサく く・サ	ほとけ	ブツ	な	カ	に	サ	すむ
												ジュウ
												に

信	保	俗	俊	促	係	便	侵	侯	侮	依	供	侍
シン	たもつ	ホ	ゾク	シユン	うソク ながす	ケイ	かかる	ベン・ビン	おかし	コウ	あなどる	イ・エ
												サ
												む
												ら
												い
												ク
												とも

倫	値	倣	借	候	倒	倍	個	倉	併	倭	俳	修
リン	ね・あたい	ホウ	シャク	かりる	コウ	トウ	たおれる	バイ	コ	くらウ	ヘイ	ヒョウ
												たわら
												ハ
												おさめる
												シユウ・シユ

乙部				二部				一部			
乗	乙	九	乳	乾	乱	了	事	二	互	五	井
のジョウ	オツ	キユウ・ク	ニユウ・チ	カン	ラン・ミだれる	リョウ	コジ・ト	ニ・フたつ	ゴ・タイ	ゴ・イツツ	セイ・シヨウ

亡部				人部				仕部			
亡	交	享	京	人	仁	今	介	仕	他	付	代
ボウ	コウ・マじわる・まじる	キョウ	キョウ・ケイ	ジン・ヒト	ジン	コン・キン	カイ	シ・ツかえる	タ	フ・ツける	ダイ・カわる・ヨ

以部				任部				伏部			
以	仰	仲	件	任	企	伏	伐	休	伯	伴	伸
イ	ギョウ・オウ・オウ	チュウ・ナカ	ケン	ニン・マカせる	キ・クわだてる	フク・フセる	バツ	キョウ・ヤスむ	ハク	ハン・バン	シン・ノびる

しつかえない。

例 光ひかる↓ひかり 祭まつる↓まつり 組くむ↓くみ 補おぎなう↓おぎない 誓ちかう↓ちかい

肥こえる↓こえ

ただし、「務つとめ」「氷こおり」「謡うたい」のように、名詞の形のみを掲げてあるものは、動詞には使わない。

ニ つぎのような熟字は、使ってさしつかえない。

木き↓木立こだち 目め↓目深まぶか 金かね↓金物かなもの 雨あめ↓雨戸あまど・春雨はるさめ
 何なに↓何時なんどき 十ジュウ↓十銭ジッセン 合ゴウ↓合併ガッペイ 皇オウ↓天皇テンノウ 寸
 スン↓三寸サンズン 発ハツ↓出發シュッパツ 夫フ↓夫婦フウフ

部首漢字		音訓		部首漢字		音訓		部首漢字		音訓	
一部	一	イチ・イツ	ひとつ	下	カ・ゲ	した・しも・さげる・くだる・もと		一部	中	チュウ	なか
丁	テイ・チョウ			不	フ			部	丸	ガン	まるい
七	シチ			且	かつ			部	丹	タン	
丈	シヨウ			世	セ・セイ				主	シュ・ス	ぬし
三	サン			丘	キウ			部	久	キウ	ひさしい
上	シヨウ			丙	ヘイ				乏	ボウ	とほしい
	うえ・かみ・あげる・のぼる										

当用漢字音訓表

まえがき

一 この表は、当用漢字表の各字について、字音と字訓との整理を行い、今後使用する音訓を示したものである。

一 この表の字音は、漢音・呉音・唐音および慣用音の区別にかかわりなく、現代の社会にひろく使われているものの中から採用した。

一 この表の字訓は、やはり現代の社会にひろく行われているものの中から採用したが、異字同訓はつとめて整理した。

一 音訓の掲げ方は、まず字音をかたかなで、つぎに字訓をひらがなで示した。

なお、限られたことばにのみ用いられるものには、傍線をつけておいた。

>

〔使用上の注意事項〕

イ 自動詞にも他動詞にも使われるものについては、おおむねその一方の形のみを掲げてあるが、両様に使ってさしつかえない。

例 滅ほろびる↓ほろぼす 落おちる↓おとす 集あつまる↓あつめる 加くわえる↓くわわる 折おる↓おれる 染そめる↓そまる

ロ 形容詞・形容動詞・動詞の中の二つ以上に使われるものについては、おおむねその中の一つの形のみを掲げてあるが、両様あるいは三様に使ってさしつかえない。

例 怪あやしい↓あやしむ 楽たのしい↓たのしむ 憎にくむ↓にくらしい 確たしか↓たしかめる 晴はれる↓はれやか 暖あたたかい↓あたたか・あたためる 清きよい↓きよらか・きよめる

ハ 動詞にも名詞にも使われるものについては、おおむね動詞の形のみを掲げてあるが、名詞に使ってさ